

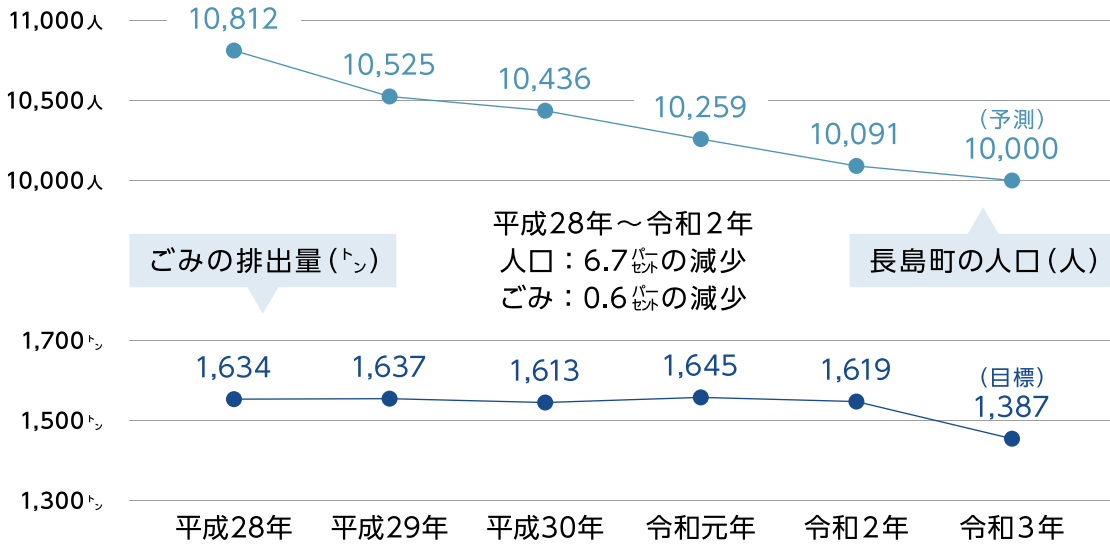
ながしま エコ通信

～ごみを減らそう～



町ではここ数年、人口減少数に対して、家庭ごみの総量はほぼ横ばいとなっており、町民一人当たりが出すごみの量は少なくありません。
令和2年度に町の家庭ごみ処理にかかった費用は約1億円。年間1619トンのごみを処分しました。
ちよつとしたひと手間で、ごみは減らすことができます。一人ひとりが意識することで、少しでもごみを減らしてみませんか。

町の家庭ごみの推移



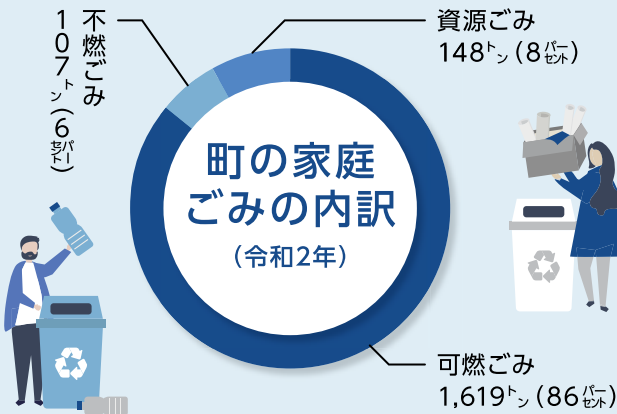
ごみが減っていない

平成28年からの5年間で、町の人口は6.7割減少しているのに対して、ごみは0.6割しか減っていません。

コロナ禍の影響で、外食を控えたテイクアウトや自宅での調理が増えたことによって、プラスチックごみが増えてきています。

プラスチックごみはきちんと分別すれば再利用可能な資源ごみとなり、可燃ごみの割合が減ることにつながります。

町の家庭ごみの内訳 (令和2年)



ひと手間の価値

可燃ごみの重量の約40割は生ごみによるものです。生ごみの水切りをよく行い、1人で卵1個分、4人家族でタマネギ1個分を目標にごみの減量を行いましょう。

ごみ減量でまちづくり

4月1日から新しくなった環境センター「エネクリン北薩」は、出水市・阿久根市・長島町が出資している北薩広域行政事務組合が運用しています。その中で、「1日1人60gのごみを削減しよう」という取り組みを行っています。

1人に付き1日60gのごみを減らすと、年間約730万円の削減が見込まれます。ごみを減らすことは環境に優しいだけでなく、住みよいまちづくりのためにもつながります。

問い合わせ先

役場介護環境課環境衛生係
☎(86)1153[直通]